七 人 の 選 出

2026.11.11
聖書に学ぶ A-6
使徒の働き 6:1～7

教会も人の集まりです。人数が増える分だけ、問題の数も増える傾向にあります。
そして起きてしまった問題に、どのように対応するかが、もう一つの大切な問題です。
この対応次第で、解決に至る場合もあり、更に、問題が複雑化してしまうこともあります。
ここで私たちは、使徒たちが様々な問題にどのように対応するか、学ぶことができます。

今日の学びの要点

問題が起きたとき、12 使徒たちはその原因は、自分たちが「祈りとみことば」を軽んじていた為だと主から示され、悔い改めました。主からの解決方法により、七人の奉仕者を選びました。私たちの教会も「祈りとみことば」を重んじ、いつも主の前に出て、祈る群れにさせて頂きましょう。

Ⅰ、苦情の解決に向かって

（使徒の働き 6:1）

1、弟子たちの数が増え、問題が起き、苦情が出てきました。

①アナニヤ夫婦の問題は、お金のことでした。ここでの問題は何でしょうか。

・食べることの問題　→ → → 人間関係

②使徒の働き 6:1 にある問題は、具体的にどのような事でしょうか。

・ユダヤ人の中で ┌ ヘブル語を使う人々
　　　　　　└ ギリシャ語を使う人々

・ギリシャ語を使う人々… その中のやもめたちに、食事の配給がなかった。

※夫がいない、やもめという弱い立場の人たちが、なおざりに(無視)された。

2、イエスをキリストと信じる者たちの中に、差別にみえる問題が生じましたが、その根底に何がありますか。

原因：自分たちのことしか考えられなかった―― 自己中心

結果：不満･苦情―― 愛の欠如

＊ヨハネ 13：34～35 で、イエス様が言われた命令は何でしたか。

Ⅱ、使徒たちの解決方法　（使徒の働き 6:2～3）

1、12 弟子たちはこの問題について、対処するために、原因がどこにあると思ったのでしょうか。

①それまで、12 弟子たちが先頭に立ち、食事の配給の事に係わっていました。
（何千人もの人々の食事の配給の指示をし、自らも配っていた。）

主イエス様の教え →マタイ 20：27､28 →マタイ 14：15～20
）

②12 弟子たち全員が、まずしたことは何でしょうか。

・12 弟子たちは共に祈った：主イエス様に、この問題をありのまま話す。
＊問題が起きたとき… 主の前に正直に出る―― 参照：マルタ(ルカ 10:38～42)

・悔い改めた：自分たちが「祈りとみことば」を軽んじていたと示された。
（人の多さや、言葉の違いや立場ではない）（使徒の働き 6:4）

・主の解決方法を教えられた：主から、具体的なアイデアを示された。

2、12 弟子たちの出した答えは、奉仕者を選出し、配給の務めに当たらせる事でした。

①一致した 12 弟子たちからの提案 ＝ 七人の奉仕者を選出

②七人の奉仕者の選出基準･条件＝ この世の人の条件と違う（使徒の働き 6:3）
この世の人が出す条件なら：責任者を立てる、チケット制にする、お世話する人の数を増やす、通訳できる人を入れる、等である

3、会衆一同は 12 弟子たちの提案を受け入れ、会衆が七人を選びました。どのような人々でしょうか。(12 弟子たちは選んでいないが、祈っていた)

①名前から判断すると… ギリシャ系のユダヤ人

②大勢いた「信仰と聖霊に満たされた人」の中で、「評判の良い人」誰の目にもそう見えた人。